

令和2年度 事業報告

わが国では、少子高齢化の急速な進展とともに生産人口の減少が進み、経済社会の活力をいかに維持していくかが大きな課題となっています。

65歳以上の高齢者人口は増加の一途をたどり、これにより労働力人口が減少し人材不足が顕著になる中、国においては育児・介護等の現役世代を支える分野の担い手としてのシルバー人材センターの役割に大きく期待しています。

このようにシルバー人材センターを取り巻く環境は大きく変化し、新たな受注が増加する中で、業務を適確に推進していくため、会員の増強が最重要課題となっていました。

これを解消するため、年度当初より入会説明会を月2回に増やし、市内全域に年2回の新聞折込を実施しましたが、令和3年3月末日現在の会員数が507名と前年度末の513名と比べ減少し、会員の平均年齢も74.7歳と年々上昇していく中、新規会員の獲得が最重要課題であると考えております。

このような流れの中、東海市シルバー人材センターとしては、日常の就業の中に健康で生きがいをもって活躍し、一人でも多くの人の社会参加ができる組織づくりに努めてまいりました。

この1年のシルバー人材センターの経営環境は、新型コロナウイルス感染症の影響により大変厳しい状況の中、市民の皆様、各事業所、東海市並びに各種団体の方々のご支援、ご協力により無事事業を推し進めることができました。

そしてシルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神のもと、当初の事業計画に基づき「会員の増強と能力開発」、「就業機会の開拓と創出」、「安全・適正就業の推進」、「組織の強化」及び「自主財源の確保」を重点目標として取り組んできました。

令和2年度の新入会員数は、男性49名、女性17名の計66名でしたが、男性46名、女性26名の計72名が退会しました。

今後、会員の拡大を推進する方策の一つとして、退会者を減少させていくため、会員が希望する就業ニーズに、いかにマッチングさせるかに取り組み、

会員定着率の向上を図ることが前年度に引き続き重要な課題として上げられます。

就業状況については、請負事業では、就業件数は前年度と比較し251件の減、就業延日人員は3,621名の減となりました。

配分金は、一般家庭では148万円の増、事業所では828万円の減、公共では193万円の増となり、事務費は令和2年度より事務費率を10%に引き上げたことにより296万円の増となりました。

派遣事業では、前年度と比較し受注件数では143件の減、就業延日人員では1,190人の減となりました。また、総契約金額においても762万の大幅な減となり、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることとなりました。

次に重点目標のうち「会員の増強事業」については、例年実施している事業所訪問、会員募集を記載したリーフレットの新聞・市広報紙への折り込みを行うとともに、入会説明会を昨年度までの月1回から月2回開催に増やしました。

「安全・適正就業の推進」につきましては、県シ連安全適正就業パトロール指導員による指導を受けるとともに、安全就業対策基本計画に基づき、会員の安全就業と事故防止を目的に安全委員による安全パトロールを実施し、会員全体の安全意識の向上を図ってまいりました。

会員の事故の発生状況は、損害賠償事故は10件で前年度の5件より大幅の増となりました。このことを受けて安全就業基準の改正及び除草作業、剪定作業における作業別安全就業基準の策定を行いました。

傷害事故は7件で前年度の6件より1件の増となりました。

今後も事故撲滅をめざし、より一層の安全パトロール強化、安全適正就業の推進と交通事故ゼロに努めるよう指導してまいります。

その他、「就業機会の開拓と創出」、「組織の強化」、「自主財源の確保」等の各事業を推進しました。

また、独自事業として、月2回実施している書道教室、編み物教室、月1回実施している刃物研ぎ事業、月3回実施しているシルばあ会の小物作りも着実に実績をあげています。

以上会員の状況、事業経過及び事業実績について報告いたします。